

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	制作実習4	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	マンガコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位			授業形態	実習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	杉山 いつみ		実務経験の有無・職種	有・マンガ家	
学習目的					
この科目では、マンガ制作における技法や知識を、各制作工程のプロット・ネーム・下描き・ペン入れ・仕上げに合わせて習得を行っていきます。各工程において必ず講師又は教員がチェック行い、漫画業界の編集者と同じく形式と同様な流れを組むことによって、作品を作るだけでなく『仕事として制作を行う意識』も身に付けていきます。業界研究も含め、既存の作品と自身の作品を比較しながら商業作品としてのクオリティや流行にも目を向けて取り組んで行いきます。					
到達目標					
この科目では、各授業でのレクチャーと、後期期間を通して制作を行う読切作品を元に、日本の漫画を作る上で基本となる技術と知識を身に付けることを主目標とします。この授業内での制作物はアナログでの制作を主として、デジタルとアナログ共に制作が行える人材を育成します。各提出物の期限や、読切作品の制作における各工程でのチェックを厳守することにより、作品制作を通して仕事としての感覚を身に付けることも目標とします。完成した作品は必ず出版社への持込み又は投稿を行い、デビューに向けた活動を行う。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、漫画制作において基礎となる考え方や技術を、1本の読切作品の制作を通して身に付けていく。読切作品以外にも、各授業で技術習得の為に小課題をアナログで制作することにより、多種多様な道具や環境においても作品を制作できる技術向上を養う。各課題は全て締め切りを設け、仕事としての感覚も身に付けていく。				
注意点	この授業では、アナログでの制作における基礎技術及び、アナログ表現の習得度を確認するために課題制作を実施するため、授業内ではしっかりと先生の話聞くだけでなく、必ずメモを取るよう指導を行う。後期期間を通して制作を行う読切作品を、各工程毎にチェックを行い、切や仕事としての意識を養うため、遅刻や欠席は認めない。4分の3以上の出席をしない者は、課題の評価対象にならない。完成した作品は必ず持込み又は投稿を行う。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	70%	課題を総合的に評価する		
	成果発表表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ストーリー講座①/修了制作①		構成方法『序破急』を理解する/修了制作16P以上の読切作品のプロット制作		
2回	ストーリー講座②/修了制作②		ハリウッド式の構成方法『三幕構成』を理解する/修了制作のプロット制作		
3回	キャラクター表現①/修了制作③		細身・肥満などの体型変化を理解する/修了制作のネーム制作		
4回	キャラクター表現②/修了制作④		ボディランゲージで表現する/修了制作のネーム制作		
5回	動物基礎①/修了制作⑤		哺乳類・鳥類の構造を理解する/修了制作のネーム制作		
6回	動物基礎②/修了制作⑥		魚類・昆虫の構造を理解する/修了制作の下描き制作		
7回	乗り物基礎①/修了制作⑦		自転車・バイク等の二輪車の構造を理解する/修了制作の下描き制作		
8回	乗り物基礎②/修了制作⑧		軽自動車・大型バス等の四輪車の構造を理解する/修了制作の下描き制作		
9回	背景講座①/修了制作⑨		階段・高低差をつけた背景の作画/修了制作のペン入れ制作		
10回	背景講座②/修了制作⑩		3点透視について理解する/修了制作のペン入れ制作		
11回	背景講座③/修了制作⑪		時代・世界観による建物・小物の違いについて理解する/修了制作のペン入れ制作		
12回	セリフ・言葉表現①/修了制作⑫		マンガ表現で使われるフレーズを理解する/修了制作の仕上げ制作		
13回	セリフ・言葉表現②/修了制作⑬		キャラクター設定による喋り方を変化させる/修了制作の仕上げ制作		
14回	修了制作⑭		修了制作の仕上げ制作		
15回	修了制作講評会		自身の作品を受講者全員にプレゼンを行う 他者の作品に触れる		